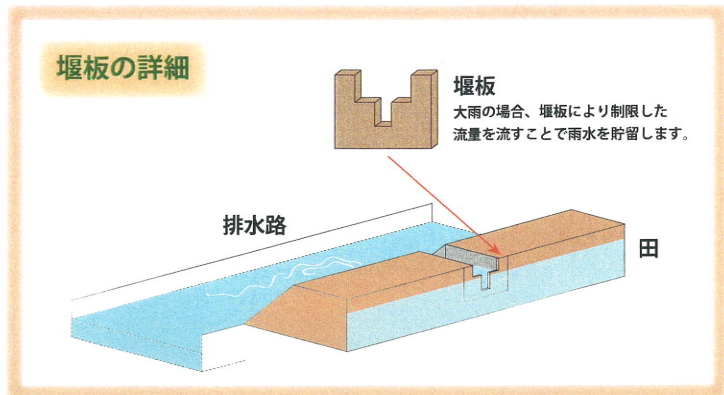


水害から地域を守る

田んぼダム

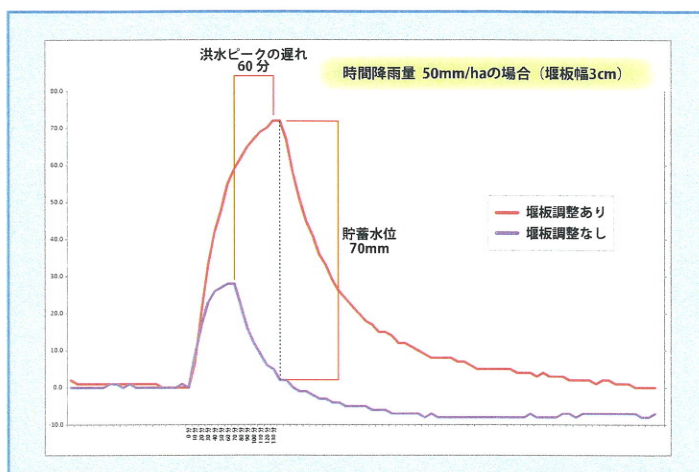


田んぼダムは、田んぼがもともと持っている「水を貯める機能」を堰板を設置することにより大雨による洪水被害を軽減する取り組みです。

近年、短い時間に局地的な大雨が降る集中豪雨による洪水被害が多発しています。一時的に雨水を田んぼに貯め、水路や河川への水の流出を穏やかにすることで、川への急激な増水を防ぎ、洪水被害を軽減することができます。

田んぼダムの機能を検証

平成 25 年度実験ほ場を設置し、田んぼダムの機能を検証しました



田んぼダムの効果

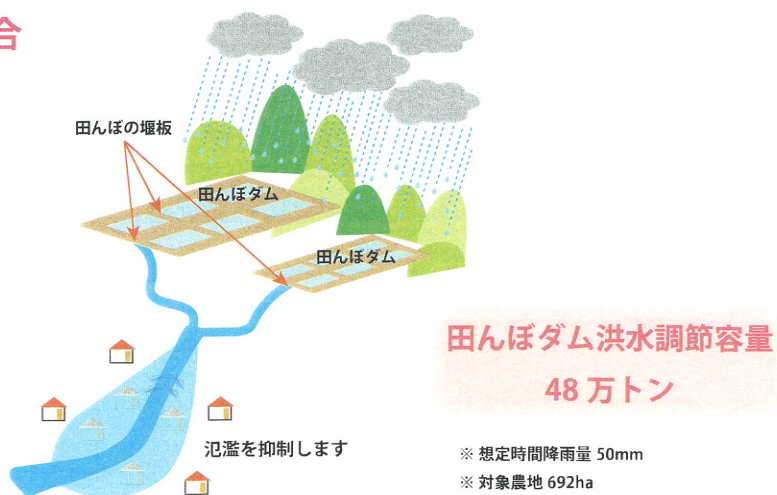
1. 洪水のピークを約 1 時間遅らせます
2. 時間雨量 50mm 以上から効果を発揮する
3. 堰板の規格は巾 7.5cm が最適である (30a の場合)

千種川地域における過去の災害 (1 時間降水量)

昭和 51 年 9 月 41mm、平成 16 年 9 月 55mm、
平成 19 年 8 月 56mm、平成 21 年 8 月 81.5mm、
平成 24 年 7 月 50mm

出典：気象庁

千種川流域の田んぼで実施した場合



田んぼダムは地域のみんなで取組む活動

地域で取組むことで防災コミュニケーションをはじめ多くの効果が期待できます